

つみきのくらしをのぞいてみませんか？(特別企画)

2月6日にこども園つみきの園庭整備に至った経緯やこれから園が目指す方向性について報告会をしました。本園の保育環境アドバイザー木村 歩美さんは動画を用いて“子どもの育ちの中にある大事にしたいもの”の説明をしてくださいました。一人ひとりの興味関心をきっかけに試行錯誤し、挑戦して考えて、周りの人の力を借りながら解決していく力を身につけるために必要な環境づくりの話しに、参加者の皆さんも子どもを取り巻く環境について真剣なまなざしで考える機会となりました。



失敗が許せる環境

ケガをしてほしくないために、保育者はたくさんのルールや声掛けを子どもたちにしていました。なぜケガをするのか？⇒まだ能力が備わっていないのに登れてしまう環境だったから。環境整備をはじめていくことで、子どもの力を信じることで、子どものやりたいを見守ること、子どもたちの挑戦も大事にしながら、ケガを減らす環境も配慮する。

身につけたいのは、危険管理能力

- ・危険を察知する力
- ・危険を回避する力

これらは、自分の経験から生かされます。痛い、怖い経験があるから回避しようと身につく能力です。



“大人の言うことを聞いてルールを守ることが大事とされていた時代”⇒“子どもが自分で考え判断して生きていく時代”へと変化しています。子どもたちは自分の経験したことを通して学んでいき、20年、30年後に役立つ回路を作っていくことが大切になります。

勉強になる会でした。



つみきの取り組みは非常にユニークなものが多いと思いますが、保護者側がまだついていけない印象を受けます。今後もこうした情報発信を積極的にしてほしいです。

園庭の取り組みでの工夫など聞けて良かった。(高い遊具が昨年できたときも怖そうだったので)

園児・保護者・保育者・関わっている全ての人の心情を考えて作られているんだというのが分かって良かったです。

今回は貴重なお話ありがとうございました。園の取り組みを改めてじっくりお話を聴くことができ、良かったです。今後、親とスタッフ(保育士)の意見交流みたいなワークショップがあっても面白いのかなと思いました。(理想の保育についてというテーマなどで)

入園してからの3年間で大きく変わってゆく園庭や教室、ホールを見ているのが楽しみでした。娘もできることが増えていくのが楽しそうでした。ありがとうございました。

環境整備についてとても理解ができました。手作りの遊び場で大丈夫かなあと不安もありましたが、子どもの力と頭が生かされる素敵な取り組みだと思います。

参加された方の感想・ご意見

今回参加したことで遊具の意見など理解できました。ありがとうございました。

木村さんのお話が楽しかったです。同じような園庭の他の園の様子ももっと見てみたいです。

ゆいかちゃんすごすぎ！(他園の園児の成長を見て)滑り台の動画も胸が熱くなりました。こどもたち無限の可能性を秘めているんですね。再確認です。とても勉強になりました。